

聖歌



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

BLADE



こんにちは。Louis&Viseeです。気づけば運命の輪発売から1年ですね。ラヴィニスさん本は4冊目になります。この本はコミ1で出した陵辱本の続きっぽい感じになりますが別物と考えてもらっても大丈夫だと思います。

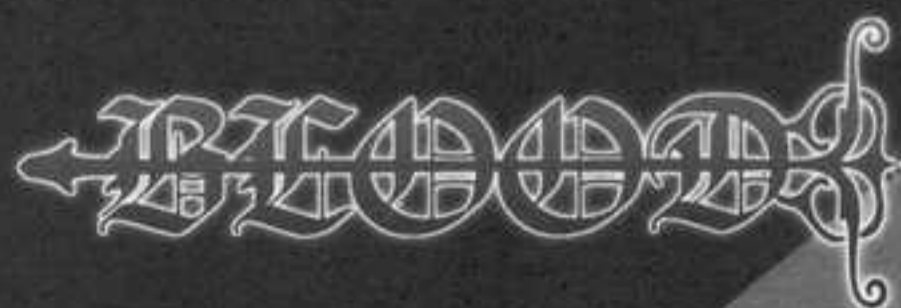
救いのない陵辱話にするのはやめよう！ということで話の部分も入れてみたんですがこれがまた難しくなんだかよくわからない事になってしまいました。なんで人間じゃなくてトカゲのおっさんなんだって感じですが、混血であるが故の悩みや許容の広さを持つ彼女（勝手な妄想ですが）の相手がただの人間なのはつまらないということになりました。

トカゲさんとのエピソードは他にも考えてあったのですが時間がなくてだいぶ削っちゃいましたのですごく意味不明かも、申し訳ないです…！

シナリオは自分なりに解釈して好き勝手に描いて見ましたが矛盾点とかあったらすみません…。

機会があればトカゲさんとラヴィニスさんを再会させてみたいですね！

ではではこのへんで！



あーたまんねえなあ
將軍さんのまんこはよ

そこらの女とは
比べモンにならないね

あー

あー

よお
見張りさんよお

おめえさんは見てる
ばっかでちつとも手を
出しやしねえなあ

ズッ

ズッ

…興味がないんでな

俺達亜人兵は馬鹿
みてえにこき使われてる
っていうのによ

鬱憤も溜まるってもんだ
そんな時にこの「ご褒美」だ
手を出さねえおめえの
考えがわからねえな

へえ？

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

まさか「不能」
ってわけじゃ
あるまい？

馬鹿言え、
人間の女廻して喜んでる
アンタ等が理解できん
だけさ：何が良いんだか

へっ、いけすかねえ
蜥蜴だぜ

まあせいぜい指啜えて
見てるがいいさ
おら、將軍様よ
この蜥蜴野郎はアンタに
興味がないって言うんだぜ？

こんなにいやらしくて
エロい身体してんのになあ
勿体ねえ話だよ

は…

っ…

盛り上がり
に欠けるぜ

うっ……

それにしたって
強情だねえ
滅多に声を上げやしねえ

早く
終わらせて……

期待しても
無駄よ……

可愛く
ねえなあ……

ちっ……



あんな台詞
吐くもんじゃねえ

しおらしくしてりや
いいものを…



……



だからこっぴどく
やられんだぜ




気に食わねえだけさ




他の兵士と違って
貴方は私に手を
出さないのね
情けをかけてるのかしら

ムムム




確かにアンタは綺麗だ
誰だって抱きたくなるだろうさ
こんな所にブチ込まれて好きに
していいってんだから尚更だ

だが俺はご免だね
そこまで落ちぶれちゃ
いない



：亜人は冷酷で残虐な
性格の者が多いと
聞いたけれど：

貴方は違うようね……



ハツ：面白い事を言う：
アンタ等人間にとっては
どれも同じようなもんだろう
俺はアンタを捕らえてる
ガルガスタンの一員だぜ？

それも下っ端の薄汚ねえ
亜人兵さ
他と何が違うって言うんだ

……



貴方の信念に
生まれや所属は
関係ないわ



.....



本当のところは
どうでもいいのさ
ガルガスタンがどうだとか
ウォルスタがどうだとか

ただ俺達みたいなのが
生きていくためには
：やらなくちゃ
ならねえんだ



そろそろ
まんこだけじゃ
寂しいんじゃないの

何…ッ

はっ
ズンズン



へへ…
俺はこっちの
ほうが好きなんだよ

ああッ

嫌…ッ
そんな所…っ

ズン

ヒッ

2本同時なんて
贅沢じゃねえか

やめ…ッ
入らな…

グッ
グッ

楽になりたきや
力抜いてろよ

嫌…ッ

グッ
グッ

グッ
グッ



ほおら
全部挿入った
じゃねえか

アンタ今クソする穴に
チンポぶち込まれて
んだぜ？



なんだ、だらしねえ
顔してよ
さっきまで気丈に
してたじゃねえか

おい

ちつとばかり
やりすぎなんじゃ
ねえのか

ああ？

何だあおめえまさか
この女に惚れたんじゃ
ねえだろうな

そういやおめえだけは
一向に手を出そうと
しなかったもんなあ

てめえはバケモンの
くせに意外と
純情なのか？
笑わせるぜ

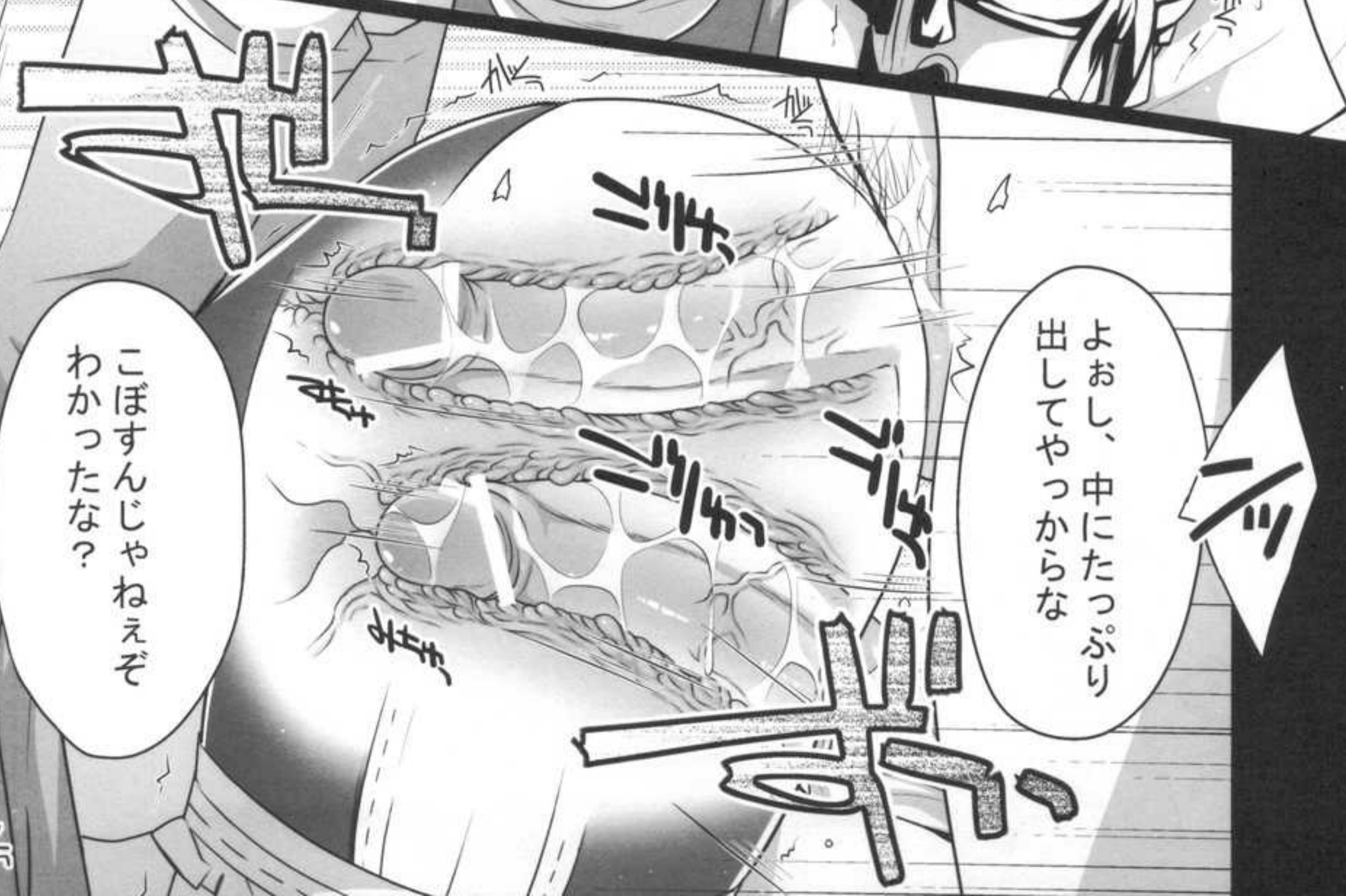
どうせこいつは
死罪になるんだ
ちよつとばかりしぶつ壊れて
も構いやしねえよ



おら、ちやんと
ロマンコも使えよ

アッアッ

アッアッ



よおし、中にたつぷり
出してやっからな

こぼすんじゃねえぞ
わかったな？

アッアッ


一週間後だってな
アンタの裁判

明日にはコリタニに
搬送されるそうだ

そう…
貴方とこうして話す事も
最後になるのかしら

裁判なんて
反対派の貴族を黙らす
為のお膳立てだ
結果は分かり切ってる

……




貴方には感謝
している

なんで貴族達は
ウオルスタの將軍を
庇おうとするんだ？


私が正気を保って
いられたのも
貴方のおかげよ

辱められてる
アンタを見てる事しか
できなかつたのに？




それが貴方の
仕事でしょう

生きてく為のね




確かに彼女は
出来た人間だと思いが
それが理由に
なるのだろうか

…アンタお人好し
過ぎんぜ



：貴方は
ウォルスタも
ガルガスタンも
関係ないと言った

正規軍にも
貴方のような
考えの人が居て
良かった



何故：
アンタはウォルスタ
の將軍だろう


まるで中立のような
意見を言う
ガルガスタンが
憎いとは思わないのか？



私は混血なのよ


父はウォルスタ人で
母はガルガスタン人

私がガルガスタン国内に
身を隠せたのも母方の
縁のおかげだった




そうか…

：その縁とやらが
反対派の貴族に
通じてたってわけか




ウォルスタからは裏切り者の
ガルガスタン人と罵られ
ガルガスタンからは
ウォルスタの將軍と言われ

自分は一体何者なんだろうと
何の為にこれまで
生きてきたのだろうと



バルマムツサでの虐殺を
目の当りにして
ウォルスタを捨てた
あの時から
ずっと悩んできた

でも穏健派の貴族達との
出会いがきっかけで私にも
出来る事があるのでは
ないかと思っただ



互いの民族が争う事のない
この身に流れる血なんて
関係のない
世の中を作りたかった

泣いてんのか



クツ



いつの間にか
彼女に感化
されていた




…あの微笑が
今でも脳裏に焼き付いている

号外！

号外！

——コリタニへ移動中の小隊が
ウォルスタ解放軍に遭遇し全滅
搬送中だったロシリオン将軍は行方不明

抗えたんだな
ラヴィニス



アンタなら
ガルガスタンを
変えられるさ
信じてるぜ



STRAID

発行日 : 2011/12/31
発行 : Runway/Louis&Visee
WEB : <http://louis.or.tv/bl>
印刷 : あかつき印刷様

